

㊦ Projections and Semantic Description in Lexical-Functional Grammar

R.M.Kaplan(Xerox PARC,米国)

発表要旨

我々は, semanticルールを許すためには, どのようにlexical-functional grammar(LFG)のルールを拡張すれば良いのかを示す。この拡張では, f-構造が意味要素の入力になる必要はなく, 意味構造とfunctional構造の処理を同時に行うことができる。これはfunctional表現の単純化と, quantifier-storageメカニズムを必要としない関数的な不確実性による限量子のスコープの曖昧の処理のような novel意味解析の単純化をする。本提案は投射の定理に基づいている。この投射は言語形式のレベルと意味との間の情報的な依存性を捕獲する構造的な関数の概念を使っている。

質疑応答

質問: storageメカニズムなしに, 限量子とcomplement述語間の限量スコープの曖昧が処理可能だと言うのはわかりました。しかし, "every man loves a woman"のような, 普通のスコープの曖昧性も処理できるのですか。

回答: はい。ここでは話さなかったのですが, できます。これはだいたい木構造の上で上下にトラバースし, ここでいくつかの違ったパースが得られます。そこで, 満たすパースだけを探せば, 良いのです。しかも, これは効率的に計算できます。

質問: Lixicalizationのことですが, 少なくとも何をlexiconに入れなければならないのですか。

回答: 言語によって, lexiconに入れるものが違ってきます。LFGはlexiconとconstitution structureとの間の関係を形式化するだけです。特に, 細かいことについては考えていません。